

大型甘トウガラシ「松の舞」に適する疫病抵抗性台木品種の特性

[研究のねらい]

和歌山県では大型甘トウガラシ（品種：「松の舞」）が『ねごろ大唐』の商品名で特産品目として栽培されています。しかし、施設栽培では連作による疫病の被害が拡大しており、抵抗性台木の導入が求められています。そこで、大型甘トウガラシ「松の舞」の半促成栽培に適した疫病抵抗性台木品種の選定を目指します。

[研究の成果]

- ①大型甘トウガラシ「松の舞」に「スケッチ C」、「ベルホマレ」等を台木として用いると、萎凋株の発生がありませんでした。一方、「ベルマサリ」では不親和性を示し、定植後全ての株が萎れて枯死します（表 1、図 1）。
- ②「松の舞」の疫病抵抗性台木品種としては、実生と同程度以上の総収量・上物可販果収量となる「スケッチ C」と「ベルホマレ」が適しています（図 2）。
- ③「松の舞」の栽培で高温期に問題となる尻腐れ果の発生は「スケッチ C」と「ベルホマレ」を台木とした場合、実生と同程度です（図 3）。
- ④果実形質（果重、果長、果径、果肉厚）については、台木品種による大きな差は見られません。

[成果の活用面・留意点]

- ①本成果は 1～3月定植の半促成栽培に適します。

表 1 台木品種による大型甘トウガラシ（品種：松の舞）の萎凋株発生数

台木品種	萎凋株数 / 供試株数	
	¹⁾ 2001 年	²⁾ 2002 年
ベルマサリ	6 / 6	4 / 4
スケッチ C	0 / 6	0 / 4
ベルホマレ	0 / 6	0 / 4
LS4148	0 / 6	0 / 4
安濃2号	0 / 6	0 / 4
実生	0 / 6	0 / 4

注) ¹⁾定植：2001 年 2 月 22 日、ビニールハウス栽培
²⁾定植：2002 年 3 月 11 日、ビニールハウス栽培



図 1 「松の舞」接ぎ木株に発生した萎凋

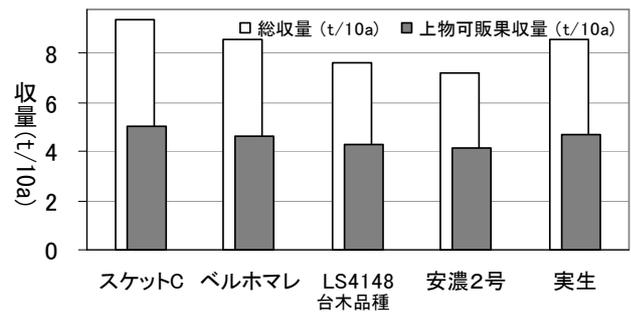


図 2 台木品種による「松の舞」の収量

注)ビニールハウス栽培、主枝 4 本仕立、栽植密度 畝幅 200cm・株間 70cm・1条植・70 株/a、収穫：2001 年 4 月 26 日～11 月 15 日、2002 年 4 月 26 日～10 月 24 日、2003 年 5 月 15 日～9 月 29 日、図は 3 年間の年平均値

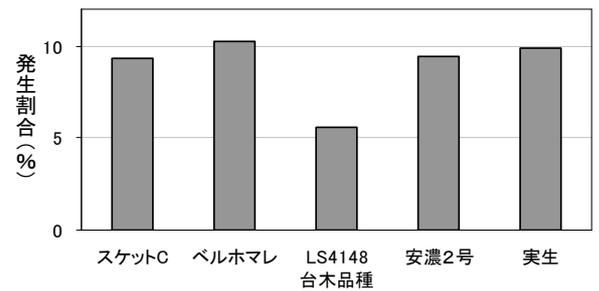


図 3 「松の舞」の尻腐れ果が収量に占める割合 (2001～2003 年)

実施年度：平成 12～16 年
 担当者：神藤 宏・衛藤夏葉